

医療事故情報収集等事業 第15回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：平成20年7月～9月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

		平成20年			合計
		7月	8月	9月	
報告義務 対象医療 機関	報告件数	132	102	142	376
	報告医療 機関数	123			
参加登録 申請医療 機関	報告件数	9	13	8	30
	報告医療 機関数	23			
報告義務対象医 療機関数		273	273	273	-
参加登録申請医 療機関数		278	279	279	-

第15回報告書17～20頁参照

表2 事故の概要

事故の概要	平成20年7月～9月	
	件数	%
指示出し	4	1.1
薬剤	16	4.3
輸血	0	0.0
治療処置	83	22.1
医療用具等	30	8.0
医療機器	13	3.5
ドレーン・チューブ類	17	4.5
歯科医療用具(機器)等	0	0.0
検査	21	5.6
療養上の世話	173	46.0
その他	49	13.0
合計	376	100.0

第15回報告書27頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：平成20年4月～6月に発生した事例)

1) 参加登録医療機関：定点医療機関数 237施設, 定点外医療機関 899施設

2) 報告件数 (第15回報告書51頁参照)

①総報告件数：59,534件 (報告医療機関数 318施設)

②分析対象：全般コード化情報 58,600件, 記述情報 2,757件

2. 医療事故情報等分析作業の現況

報告された事例については、個別のテーマを設け医療事故情報とヒヤリ・ハット事例を併せて分析を行っています。今回の個別のテーマの検討状況は下記の通りです。

- (1) 薬剤に関連した医療事故 (第15回報告書69～94頁参照)
- (2) 医療機器の使用に関連した医療事故 (第15回報告書95～100頁参照)
- (3) リハビリテーションに関連した医療事故 (第15回報告書101～109頁参照)
- (4) 輸血療法に関連した医療事故 (第15回報告書110～120頁参照)
- (5) 手術における異物残存 (第15回報告書121～154頁参照)

3. 共有すべき医療事故情報 (第15回報告書169～170頁参照)

報告された事例の中から、専門分析班等の検討により広く共有すべきであると考えられる事例をとりまとめています。今回の「共有すべき医療事故情報」は下記の通りです。

事例内容	報告件数
病理検体の取り扱いに関連した事例	2件
採血用穿刺器具の不適切な使用に関連した事例	1件
眼科手術の際の眼内レンズの間違いに関連した事例	2件
歯科診療の際の部位間違いの事例	1件
禁忌食品の配膳間違いの事例	1件

*詳細につきましては、第15回報告書及び当機構のホームページ (<http://www.jcqh.or.jp/html/accident.htm#med-safe>) をご覧ください